



Cisco Unified Communications Manager サーバ 設定



(注) Cisco Unified Communications Manager のリリースにより、メニューオプションとパラメータが異なるため、リリースごとの Cisco Unified Communications Manager のドキュメントを参照してください。

- [Cisco Unified Communications Manager のユーザおよびデバイスの設定, 1 ページ](#)
- [標準 CCM アクセス コントロール グループへのユーザの追加, 2 ページ](#)
- [CTI ゲートウェイ アプリケーション ユーザの設定, 3 ページ](#)
- [CTI 対応アクセス コントロール グループへのアプリケーション ユーザの追加, 4 ページ](#)
- [アプリケーション ユーザへの CTI デバイス コントロールの割り当て, 4 ページ](#)
- [ダイヤルルールの設定, 5 ページ](#)

Cisco Unified Communications Manager のユーザおよびデバイスの設定

Microsoft Lync と統合するために Cisco Unified Communications Manager を設定する場合は、事前に Cisco Unified Communications Manager でユーザとデバイスの設定を完了しておく必要があります。電話デバイスを設定し、ユーザを設定し、各ユーザにデバイスを関連付ける必要があります。

回線をデバイスに関連付ける必要もあります。ただし、拡張モビリティ機能のユーザの場合は、回線をデバイスプロファイルに関連付けます。この関連付けがラインアピランスとなります。ユーザをデバイスまたはデバイスプロファイルに関連付けると、ラインアピランスがユーザに関連付けられます。

タスク	メニューパス
電話デバイスを設定し、プライマリ内線を各デバイスに関連付ける	[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)]> [デバイス (Device)]> [電話 (Phone)]> [電話 (Phone)]
ユーザを設定し、各ユーザにデバイスを関連付ける	[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)]> [ユーザ管理 (User Management)]> [エンドユーザ (End User)]
ユーザをラインアピアランスに関連付ける	[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)]> [デバイス (Device)]> [電話 (Phone)]

次の作業

標準 CCM アクセスコントロールグループへのユーザの追加, (2 ページ)

関連トピック

[ラインアピアランス](#)

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/tsd_products_support_series_home.html

標準 CCM アクセスコントロールグループへのユーザの追加

はじめる前に

Cisco Unified Communications Manager で、前提条件であるユーザとデバイスの設定を完了しておきます。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified Communications Manager Administration] > [ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [アクセス コントロール グループ (Access Control Group)] を選択します。
- ステップ 2 [検索 (Find)] を選択します。
- ステップ 3 [標準 CCM エンド ユーザ (Standard CCM End Users)] を選択します。
- ステップ 4 [グループにエンド ユーザを追加 (Add End Users to Group)] を選択します。
- ステップ 5 標準 CCM アクセス コントロール グループに追加するエンド ユーザを選択します。
- ステップ 6 [選択項目の追加 (Add Selected)] を選択します。
- ステップ 7 [保存 (Save)] を選択します。

次の作業

[CTI ゲートウェイ アプリケーション ユーザの設定, \(3 ページ\)](#)

関連トピック

[Cisco Unified Communications Manager のユーザおよびデバイスの設定, \(1 ページ\)](#)

CTI ゲートウェイ アプリケーション ユーザの設定

次の手順を実行し、CTI ゲートウェイのアプリケーション ユーザを設定します。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] > [ユーザ管理 (User Management)] > [アプリケーション ユーザ (Application User)] を選択します。
- ステップ 2 [新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 3 [ユーザ ID (User ID)] フィールドに、アプリケーション ユーザ名を入力します。

例：
CtiGW
- ステップ 4 このアプリケーション ユーザのパスワードを入力し、パスワードを確認します。
- ステップ 5 [保存 (Save)] を選択します。

次の作業

[CTI 対応アクセス コントロール グループへのアプリケーション ユーザの追加, \(4 ページ\)](#)

CTI 対応アクセスコントロールグループへのアプリケーションユーザの追加

次の手順を実行し、CTI 対応アクセスコントロールグループへアプリケーションユーザを追加します。

はじめる前に

CTI ゲートウェイを使用できるようにアプリケーションユーザを設定します。

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified Communications Manager Administration] > [ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [アクセスコントロールグループ (Access Control Group)] を選択します。
 - ステップ 2 [検索 (Find)] を選択します。
 - ステップ 3 [標準 CTI 対応 (Standard CTI Enabled)] を選択します。
 - ステップ 4 [グループにアプリケーションユーザを追加 (Add App Users to Group)] を選択します。
 - ステップ 5 CTI ゲートウェイ用に作成したアプリケーションユーザを選択します。
 - ステップ 6 [選択項目の追加 (Add Selected)] を選択します。
 - ステップ 7 [保存 (Save)] を選択します。
-

次の作業

[アプリケーションユーザへの CTI デバイスコントロールの割り当て, \(4 ページ\)](#)

関連トピック

[CTI ゲートウェイアプリケーションユーザの設定, \(3 ページ\)](#)

アプリケーションユーザへの CTI デバイスコントロールの割り当て

次の手順を実行し、CTI デバイスコントロールをアプリケーションユーザに割り当てます。

**注意**

デバイスをコントロール対象デバイスとしてアプリケーション ユーザに追加しないでください。ロールの [標準 CTI によるすべてのデバイスの制御 (Standard CTI Allow Control of All Devices)] により、アプリケーション ユーザは、すべての Cisco Unified Communications Manager デバイスをコントロールするのに十分な権限を付与されます。デバイスをコントロール対象デバイスとしてアプリケーション ユーザに追加すると、Cisco Unified Communications Manager のパフォーマンスに悪影響がおよびます。これは、Cisco Unified Communications Manager が、この方法で多数のデバイスをコントロールするシングルユーザをサポートしていないためです。

はじめる前に

CTI ゲートウェイを使用できるようにアプリケーション ユーザを設定します。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified Communications Manager Administration] > [ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [アクセス コントロール グループ (Access Control Group)] を選択します。
- ステップ 2** [検索 (Find)] を選択します。
- ステップ 3** [標準 CTI によるすべてのデバイスの制御 (Standard CTI Allow Control of All Devices)] を選択します。Cisco Unified IP Phone の RT モデルを配置している場合は、[標準 CTI による接続時の転送および会議をサポートする電話の制御 (Standard CTI Allow Control of Phones supporting Connected Xfer and conf)] を選択します。
- ステップ 4** [グループにアプリケーション ユーザを追加 (Add App Users to Group)] を選択します。
- ステップ 5** CTI ゲートウェイ用に作成したアプリケーション ユーザを選択します。
- ステップ 6** [選択項目の追加 (Add Selected)] を選択します。
-

関連トピック

[CTI ゲートウェイ アプリケーション ユーザの設定, \(3 ページ\)](#)

[CTI 対応アクセス コントロール グループへのアプリケーション ユーザの追加, \(4 ページ\)](#)

ダイヤル ルールの設定

Lync サーバから送られる「+」接頭辞を取り除くには、ダイヤル ルールの設定が必要です。ダイヤル ルールが設定されていない場合、Cisco Unified Communications Manager から回線 URI が見つけられず、コール発信が失敗します。



(注) ユーザが E.164 形式の番号をプロビジョニングしている場合のみ、次の設定が必要となります。ユーザと IP 電話の両方で E.164 形式の番号がプロビジョニングされている場合、「+」接頭辞を取り除くためにアプリケーションのダイヤル ルールを設定する必要はありません。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] > [コール ルーティング (Call Routing)] > [ダイヤル ルール (Dial Rules)] > [アプリケーションダイヤル ルール (Application Dial Rules)] > [新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 2 ダイヤル ルールの名前と説明を入力します。
- ステップ 3 [開始番号 (Number Begins With)] フィールドに、+ と入力します。
- ステップ 4 番号形式 xxx-xxx-xxxx をサポートするために、[桁数 (Number of Digits)] フィールドに 12 と入力します。
- ステップ 5 [削除する合計桁数 (Total Digits to be Removed)] フィールドに、1 と入力します。桁は常に左から右へと削除されるため、「+」接頭辞が取り除かれます。
- ステップ 6 [保存 (Save)] を選択します。

次の作業

[IM and Presence サービス ノードの設定](#)